

## 南部3地区の水道料金の格差是正を



重松 徹

市長は4年前、「南部3地区の水道料金の格差是正について」の質問に対し、何らかの形で格差の一部が解消できるようにしたいと答弁されている。基本料金は統一されたが、超過料金を初め水道料金のあらゆる格差是正に向けた考えは。

**答弁** 水道料金のうち基本水量を超えた部分の料金（超過料金）は、市内でも地域によって格差があり、この是正を図ることは、一挙にできない部分がある。

しかし、このまま放っておくと、ずっとこの格差が残ってしまい、合併前は理解されていたものも、合併後、佐賀市として1つになると目立ってくる。当面、一般家庭の平均的な使用水量である月20立方メートルまでは

格差を解消するよう努めなければならぬと考えており、方法等については検討していきたい。

**◆その他◆** ビゼンクラゲの対策について



佐賀市上下水道局

## 廃棄物処理のあり方改善を



西村 嘉宣

9月3日(火)

①自治公民館は自治会活動等の拠点であり、重要な施設と考える。公民館の倉庫整理時の排だごみを搬入した際、事業系ではなく家庭系ごみの処理料金を減額できないか②燃えるごみの袋が破けやすいので改善を。

**答弁** ①自治公民館のごみは事業系ごみになるが、

市は地域のきずなを強くし、安全で、安心なまちづくりを重点施策として推進しており、自治会活動で出たごみ処理には配慮が必要と認識している。ごみ処理料金についてはごみ減量化を考慮し、家庭系ごみの処理料金程度に減額できないか検討したい②改善には、材質を厚くするほか強化剤等を



佐賀市清掃工場

加える方法はあるが、角張った物を入れる際に裂けやすいので、まずは使用上の注意を広報する。また材質についても調査研究したい。

**◆その他◆** 農業（後継者育成）／薬草（栽培促進）／人事委員会の設置について

## 農林水産業の振興における重点項目



川副龍之介

①現在の重点項目②生産基盤の整備が進む中、農林水産業の利益拡大に向けた地域ブランド商品が必要である。ブランド化への取り組みは③フランスとイタリアはワイン輸出で日本から黒字を稼いでいる。佐賀市の農林水産物の輸出の考え

方を問う。

**答弁** ①農業振興―地産農産物のブランド化等。農業基盤整備―クリーク防災工事の早期整備完了等。

②現在、農林業―林内作業道の整備と高性能機械の導入。加工流通システムの確立等。水産業―施設の共同化等による生産コストの削減。高品質のノリ製品の供給及び、さらなるブランド価値の発信等②地場産品アドバイザー等のある。首都圏で

のフェア等、他都市での周知を図っている③条件の見合う農産物をマッチングし、市内生産者の輸出のきっかけにする取り組み等を実施

**◆その他◆** 小・中学生のインターネット依存の現状について／佐賀都市計画の今後の方針について



## 指定管理者制度の状況と方向性は



松永 幹哉

①市民サービスの向上と運営経費の削減を目的とした指定管理者制度において多くの問題点が指摘されている中、市の状況と今後の方向性は②松梅地区活性化施設「そよかぜ館」の寄附金の申し合わせ事項を見直す時期ではないか。

定管理者による管理運営を実施。事務処理上のマニュアル作成等を行い、効果的・効率的な運用に努めている。今後はモニタリング機能の向上、施設所管部署と指定管理者との定期的な会議等の開催の促進などを通して、より有効な制度にしていきたい②地域の農業振興のためにも安定的な経営の継続を望んでいる。寄附金の申し合わせでは年額500万円を基準としているが、今後は「そよかぜ

館」と十分に協議し決定していきたい。

**◆その他◆** 新エネルギー事業（小水力発電計画）／電源立地地域対策交付金（事業のあり方）について



そよかぜ館

※2 アウトリーチ：援助が必要であるにもかかわらず、自発的に申し出をしない人々に対して、公共機関などが積極的に働きかけて支援の実現をめざすこと。

9月4日(水)

運動広場の地域間格差を解消せよ!



黒田 利人

地域コミュニティの核であり、災害時の避難場所や物品の搬入の場であり、高齢者の健康づくり等多目的な利用ができる運動広場に地域間格差が生じている。公平公正の原則に則り、各地域での格差解消のための整備をすべきである。

答弁 1500平方メートルある健康広場の設置がない校区が8校区あり、旧佐賀市の中心部に近いところに多い。住民の方から設置の要望も出ている。中心部に近い地区は、まとまった土地の確保等が難しい状況であるが、土地を探し、水道施設やトイレ・日よけ的なものを整備した健康広場の設置を進めたいと思っている。そして住民の方に自由に使用してもらい、災害時には、



田代公園

防災機能を発揮する場所としたい。

◆その他◆ライトファンタジー事業について/学校における防災への取り組みについて

市の保有する土地の雑草の管理は!



千綿 正明

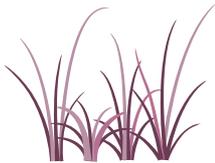
市有地の雑草の刈り取りは、3年から4年に1回ということだが、農地の近くの市有地が虫のたまり場となっている。現地の生産組合等に委託して管理は出来ないか。

答弁 地元で農業等を営

んでいる方々が、日常的に行われている除草作業の際に、公有水面のエリアも含めて管理をお願いするのもひとつの方法だと思う。しかし、市では、春と秋に市民自らの手で川をきれいにする「川を愛する運動」があり、無償で地域の除草作業をしていただいている。無償、かたや有償となると、多くの方から意見を聞くことが必要になってくるので

はないかと思う。また、ほかの事業との調整等も必要になることから、今後研究をしていきたい。

◆その他◆支所長枠(300万円)/給食の地産地消/市のICT環境(ブラウザの変更)について



下水道分担金の説明をより丁寧!



山口 弘展

市街化調整区域は一戸当たりの敷地面積が広いため、公共下水道の受益者分担金の負担が大きい。そこで①分担金の納入状況は②工事施工から供用開始までの流れは③負担への理解を得るには、より丁寧な説明が必要である。今後の対応は、

答弁 ①平成24年で収納率91%、滞納者200名②工事の範囲・スケジュール、受益者分担金等に関する住民説明会の開催③公共汚水

ます設置の意向調査(個別訪問)↓公共汚水まますの設置工事施工↓接続可能通知書の送付(接続工事の依頼)↓翌年度の供用開始にあわせ受益者分担金に関する住民説明会③住民説明会の欠席者に対して個別説明等を実施する。また、住民



への説明に当たっては、接続費用等の負担についての理解が十分に得られるよう内容の充実を図っていく。◆その他◆中心市街地のあり方について/公共工事の検査のあり方について

9月5日(木)

有明佐賀空港を国際空港へいそげ!



川崎 直幸

①東京便の利用者数は全国の地方空港の中でもトップクラスの伸びを達成しており、ソウル便の就航も予定されている。今後の国際線の展開は②有明佐賀空港活性化推進協議会の副会長である市長の国際空港に向

けた考えは。

答弁 ①佐賀県国際戦略「世界とつながる佐賀県行動計画」に基づき、台湾や香港など東アジア地域を主たるターゲットと位置づけ、LCCを中心とした国際定期便の就航に向けた展開を図っていくことを県から確認している②アジアへの便をふやしていくという県の方針にあわせてやっていきたい。地元の方々や関係者

のいろんな思いが詰まってきた空港であり、地元として精いっぱい県と協力し、いろんな事業の実現に向けた努力をしていきたい。◆その他◆開門による有明海の再生と漁業振興について



佐賀空港

※3 公共汚水ます：家庭の汚水を「公共下水道」に排出する注ぎ口(接続口)のこと。

## 歴史を活かした 観光振興策を



亀井 雄治

①福岡都市圏からの誘客の施策は何か②福岡との歴史的なつながりをどう認識しているか③ゆるキャラの活用を考えるべきではないか④佐賀城に天守閣や櫓等のランドマーク建設が必要では⑤佐賀城周辺に土産の販売施設を設置すべきでは

答弁 ①旅行の主導者層

に向け、旬の話題など、佐賀の魅力ラジオ、新聞等を通じてPRすること②蒙古襲来では佐賀の武将が博多湾を警護し、城の築城では両藩が協力し合い、長崎警備では1年交代で務めるなど歴史的にも深い関係だと認識している③人気の高いまほろちゃんの効果的活用を工夫したい④復元には多額の費用が必要で、また当時の確かな資料も不足し



まほろちゃん

ており、現時点では天守台の遺構調査を注視したい⑤既存施設、建設用地や整備費用の問題など県と協議していきたい。  
◆その他◆中心市街地活性化について／（教科書や市の施設における）「佐賀の乱」の記述について

## 農業振興、TPP 交渉脱退を訴えよ



久米 勝博

TPP交渉参加が表明され、国益を守らなければ交渉から脱退するとも言われているが、地域経済、国土保全、伝統の継承などの多面的機能を持つ農業に多大な影響を与えるTPP交渉からの早期脱退を市民挙げて訴えるべきではないのか

答弁 これまで再三にわたり政府に対し、十分な情報提供と議論を行い、合意形成を得た上で交渉参加を判断するよう求めてきた。しかし、十分な対応がないまま、正式にTPP交渉に参加された。現在、佐賀市としては、守るべきものは守るといふ政府の信念を貫き、農産物の重要5品目、586の関税細目の聖域確保を確実に履行すること等を強く求めている。各関係機関と連携し、その状況に応じた対応をしっかりと

とっていききたい。

◆その他◆学校給食（中学校給食の状況）について／消防団員確保について



今では少なくなった稲小積

## 9月6日（金）

### 個人情報保護と共有の方策を示せ



田中喜久子

地域で情報を共有しながら、コミュニティや支え合いを拡げようとしているが、個人情報保護の前に名簿も出せない状況。個人情報の管理や共有について困惑が生じている。市民への啓発と合わせて地域活動の中で

生かせるフォロー策を示せ。

答弁 個人情報保護制度への過剰な反応により地域活動に支障が生じているという状況への対応としては、制度の趣旨や一般的な個人情報取り扱いについて啓発をしていく。今回の議論でその周知をさらに充実する必要があると感じた。具

体策としては、先進地の事例を参考に、イラスト等を用いて個人情報の収集手続などをわかりやすく解説するパンフレットの作成を改めて行いたい。また、ホームページ上での周知や、自治会協議会への周知も図っていききたい。  
◆その他◆医・食・農連携での健康都市づくりについて



## 議会の傍聴

議場には一般傍聴席が65席あり、市内外のどなたでも傍聴することができます。車いすでの傍聴もできますので、ぜひおいでください。本会議のほか各委員会の傍聴もできます。

【8月定例会の傍聴者は62人】

本会議をぶんぶんテレビで生放送しています（開会中10時から最長17時まで）。市議会議員名簿、本会議の動画配信や議事録検索などを佐賀市ホームページに掲載しています。<http://www.city.saga.lg.jp/>の「市議会からのお知らせ」をご覧ください。

